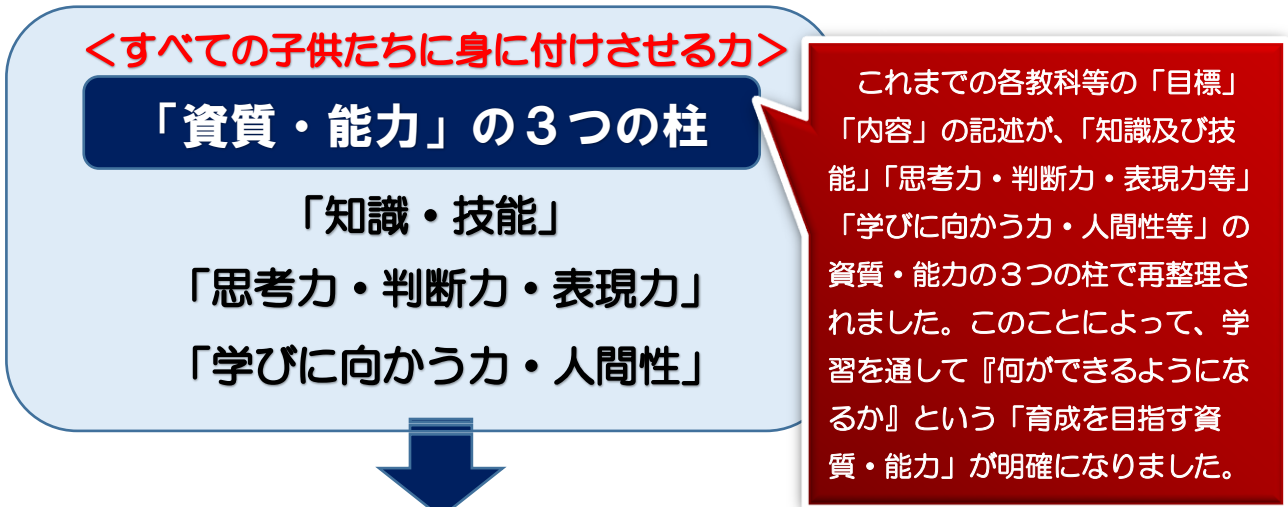


【保護者の皆様へ】 砂川市立小学校「学習スタンダード」

1. はじめに

砂川市の小学校では、市内統一した『学び方』（授業スタンダード）を設定し、どの学校でも同様の学びが進められることにより、5校が1校になった時の子どもたちの戸惑いを軽減させるとともに、市内全ての子どもたちに、学習指導要領で示されている3つの資質・能力を確実に身に付けさせ、「目指す児童生徒像」の実現に向けた小中一貫教育を推進します。

■■■■■■■■ 学習指導要領で示されている 「3つの柱」 ■■■■■■■■



砂川市小中一貫教育「全体構造図」による目指す児童像

目指す児童生徒像【確かな学力】

よりよく考え、自ら進んで学習に取り組む児童生徒

2. 学びの約束

(1) 授業を受ける時の姿勢

背筋を伸ばして正しい姿勢を身に付けることには、「持続力」や「集中力」がつくなど、学習効率の向上につながる効果があります。



(2) 学習のきまり

＜授業前＞

- ① 次の時間の準備をします。～教科書、ノート、筆記用具 ⇒ (3) 机上の整理
- ② 忘れ物をしたときは、休み時間のうちに先生に報告します。
- ③ チャイムが鳴り終わるまでに席に着きます。

＜授業中＞★正しい姿勢で座ります。

【聞<】

- ① 話す人を見ながら最後まで聞きます。
- ② 自分の考えと比べながら聞きます。
- ③ 聞き終わったら返事をします。(同じです。いいです。他にあります。など)

【発表する】

- ① 名前を呼ばれたら相手に聞こえるように返事をします。
- ② みんなに聞こえる声の大きさと語尾まではっきり話します。
- ③ 順序よく、整理して伝えます。

【書<】 ※「課題」は青、「まとめ」は赤

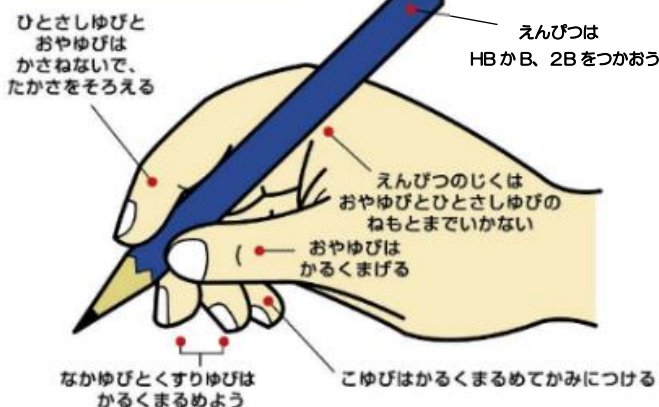
- ① 正しい鉛筆の持ち方で書きます。
- ② 正しい姿勢で書きます。
- ③ ていねいに字を書きます。



＜授業後＞★次の授業の準備をしてから、休み時間に入ります。

えんぴつのもちかた

よいもちかた



★ご家庭でもお声掛けを！★

間違った持ち方が定着してしまうと、正しい持ち方に矯正するのは難しくなります。
 「それなりに字が書けるなら、持ち方は関係ないのでは？」と思う方もいらっしゃるかもしれませんが、えんぴつを正しく持たないと、疲れやすかったり上手に書けなかったりしてしまい、その結果、長く学習を続けられない、姿勢が悪い、集中力や勉強へのモチベーションが下がるなど、学力低下の原因につながることもあります。

(3) 机上の整理

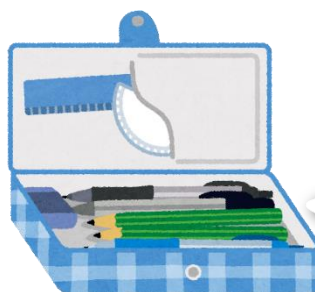
鉛筆	1年 2B 2年 2BまたはB 3年～ BまたはHB
色鉛筆 (青・赤)	1・2年は色鉛筆 3年～ ボールペン可
消しゴム	四角いもの
15cm定規	1年生から使います 折りたたみ式は不可です



学習に集中できるように余計な物は置かず、「鉛筆・消しゴム・色鉛筆（ボールペン 青と赤）・定規」を基本とし、柄はシンプルなものを推奨します。

(4) 筆入れに入れる物 **★お願いします★**

- 鉛筆5本程度
- 色鉛筆（ボールペン）
- 消しゴム
- 定規（15cm）
- 油性ネームペン（2年生以上）



分度器や定規は、目盛りの読みやすさの観点から、イラストのない透明でシンプルなものを用意してください。

(5) 学習用ノート

学校では、ていねいな文字で学習内容をまとめるノート指導を充実させ、学力の定着を図るため、それぞれの教科で使用するノートを下表のとおりそろえます。

教科	1年生	2年生	3年生	4・5・6年生
国語	8マス 十字リーダー入	15マス 十字リーダー入	18マス 十字リーダー入	5ミリ方眼 十字リーダー入
算数	7マス 十字リーダー入	14マス 十字リーダー入	5ミリ方眼 十字リーダー入	
社会			5ミリ方眼 十字リーダー入	
理科			5ミリ方眼 十字リーダー入	
その他	【必要に応じて】連絡帳・自由帳		5ミリ方眼 十字リーダー入	

(6) 学校に置いてよい物

学校では、子どもたちの道具の持ち運びに係る負担を軽減させるため、右の物を学校に置いてよいこととします。

★持ち物への記名を忘れずに！★



- 教科書（書写・生活・図工・音楽・道徳・家庭・保健体育）
- リコーダー ○鍵盤ハーモニカ ○習字セット ○裁縫セット
- お道具袋 ○紅白帽子 ○とびなわ



3. 授業の流れ

砂川市内の小学校では、各教科の1単位時間の授業について、以下のような流れを基本として行い、子どもたちの学びの力を高めます。

